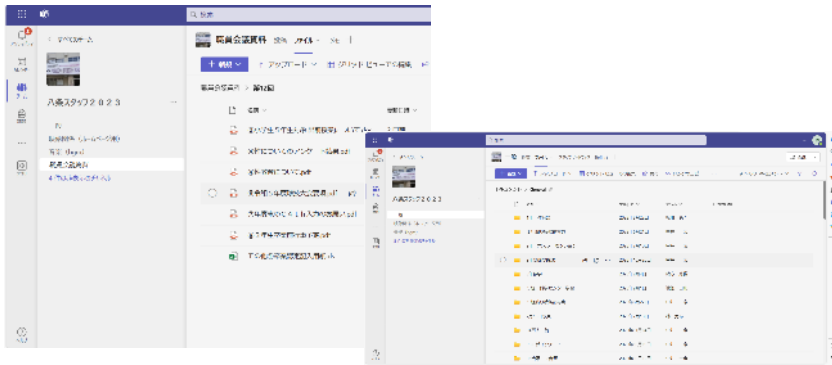


リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立八条中学校（京都府）

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

職員会議でのクラウド活用



職員会議資料をteamsに提出することとし、教職員全体で共有した。また、クラウド上で共有した資料は共同で追加や編集を行った。

【成果】

- 資料のペーパーレス化により印刷や配布にかかる時間を削減でき、働き方改革につながった。
- 職員会議に出席できなかった教職員も最新情報をいつでも確認できるようになった。

大型モニターを活用



職員室内に大型モニターを用意し、保護者連絡ツールに届いた欠席・遅刻連絡を映し出し、担任等の教員が一目で把握しやすくした。また、校舎内の生徒がよく通る場所にもモニターを設置し、行事予定や誕生日の生徒の紹介、過去の行事の様子等を配信した。

【成果】

- 教職員全体の連絡漏れが減り、情報共有がスムーズになった。
- 生徒がモニターの周りに集まって連絡事項を確認したり、投影された映像をきっかけにコミュニケーションを取り合う姿が増えた。